

供覽

11/6
南洋防備隊第三十八號

南洋防備隊第三十八號

大正四年十月十七日

臨時南洋群島防備隊司令官東郷吉太郎

海軍大臣加藤友三郎殿

一軍艦航行動報告 第二

一通

附軍艦定マール群島視察報告及軍艦定航海報告其五各一部

右進達長より進達云分

右進達云

別紙一括添

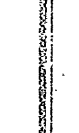
軍令部

各班

水路部

二九

桐生科



水路部十月十七日

145

十月廿九日

官房

10.28

0603

軍艦航行動報告 第二

本艦ハ臨南防核密策三九號訓令ニ基キ尤ノ通り行動セリ

月日	地	名	記
八、二六(水)	トラック		依命民政事務場書記名海軍書記名兵員三名島民親丸員九名便乗
二八(土)		ホナパ	民政事務場書記名海軍書記名兵員一名島民四名退航
三〇(月)	ホナパ		
九、一(水)		クサイ	島民二名退航
四(土)	クサイ		
六(月)		マルト	民政事務場書記一名兵員一名島民若退航八日陸上野営所ヨリ石炭補充
九(水)	マルト		マルト停泊所中尉若名等推給島民親丸名多便乗
一〇(金)		アイリガ	水先等日及通商船島民親丸名便乗
リブ	アイリガ		便乗中ノ島民親丸員一名退航
二(土)	アイリガ		便乗中ノ島民親丸員一名退航
三(日)			深泊陸上視察

0610

〃	〃	一五(水)	〃	〃	一四(水)	〃	一三(水)	〃	〃	〃	一二(日)	一一(金)
ロキリック		ロキリック		アイリカ		ウオット		ウカヤ		ラエ		リブ
	ロキリック		ロキリック		アイリカ		ウオット		ウカヤ		ラエ	
	濃泊短艇ヲ仰シ陸上視察員ヲ派ス		南方水道探検ノ上假泊陸上視察		南方沿航視察		周航視察		端艇ヲ仰シ陸上視察員ヲ派シトモ波浪高ク船着困難ノ上陸ヲ止ム		周航視察	

0611

一七(金)		アルノ	潭沱陸上視察 南洋興業社雇人松谷善三郎ノ留守備隊ノ送還ノ便宜等トシテ
〃	アルノ		
一八(王)		マルト	便乗中ノ華名知原中尉島根及松谷善三郎 十九日運送船南海丸ヨリ載去
二一(月)	マルト		
二五(金)		ホナペ	
二六(日)	ホナペ		
二八(火)		トスリ	
備考	一 渡機密失七號ノ九行動線定ハ主トシテ左記理由ヨリ之ヲ 変更セリ		
	イ、北方諸島ノ事情系各島ニ於ケル日本商社ノ現況調査 シタメファイリニクルラフニ寄航スル必要起レルコトヲ特本島 ニ大商長コレノ由死云々シタメ各島商長等皆集合ニアリ		

0612

トノ情報ヲマールトノ年俸隊ニ到着シ居レリ

ロ、フアルノミニ在位スル興業会社雇人松谷若吾ナルモノヨリ合島

ニ於ケル独宣教師トノ折合票ヲ且日米用紙ノ簿ヲモア

リトノ書信合社マールトノ支店ニ来ルト又今人ニ従来各種ノ

不都合ヲ働キ居ルマノ情報アルヲ以テ之等調査ノタメフアル

ニ寄航タルノ必要ヲ生マレト

ハ、山本補充ノタメマールトノ於テ南海丸ニ會合スルノ必要

アリレト

ニ功績具申書類整理ノタメ月末迄ニコトヲクシ歸著スル

ノ必要生マレト

ニ本巡航中ノ得タル意見ハ別ニ提出スルコトセリ

(終)

0613

軍艦淀川マニラ群島視察報告

0614

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

アイリングラップ島

一 寄港ノ目的

本艦「ヤルト」碇泊中「ラリック」諸島長「コロ」病危篤ニ頻シ目下本島諸島々民集合セル由ヲ聞キ先以テ今田巡視セントス諸島ノ現状ヲ聴取調査スルニ都合ヨキヲ以テ豫定ヲ表シテ之ニ寄港スルコトセリ然ルニ到着ノ上ノ取調ニヨレハ各島々民ノ來島ハ過般暴風ノ為ニ慘害ヲ受ケレ現状ヲ大酋長ニ報告セン為ニシテ偶々其病危篤ニ陥リシヲ以テ滞在中遂ニ死去會葬スルニ至リシナリト云フ彼等島民ハ數ノ觀念ニ乏シテ従テ人口コアラシ年産類等ハ極メテ信難キモ左記諸島ニ於ケル一般ノ情況ヲ知ルコトヲ得タリ

- (一) コリック諸島
- (二) ラエ諸島
- (三) シヤエ諸島
- (四) ウグット諸島
- (五) コキニ諸島
- (六) アイリングラップ諸島
- (七) ロンケラップ諸島
- (八) ロンケラップ諸島

二 外人ノ現状

本島ニ在住スル英籍那威人「アル」チン「ルン」目下徒食ニ居レリ嘗テテ早キ敗賣ヲ停止セシムルコトヲ決シテ八噸ハ既ニ南洋貿易會社之ヲ買收シ

三 在留邦人

南洋貿易會社員山田善四郎外一名視察員上陸之際ハ巡リテセリ

兩名共ニ好人物ニシテ島民間ノ評判良好ナリ島民ニ莫船「タンボ」ノ品ト
貿易會社「モノト」何カ品質良好ニテ價格廉ナリヤラ向ヒモ更ニ確答ヲ
得ル者シ貿易會社ニシテ莫船「タンボ」ノモノ比シ品質粗悪且ツ高價
ナラハ他會社ヲ求島セシメ取償セシムヘキヲ諭セシモ更ニ許ル所ナキヨリ察スルニ
彼等ハ品質價格共ニ貿易會社ノモノニテ満足シ居ルカ如シ

又彼等ハ不定期ニ寄港シ在泊日數短少ナル莫船「タンボ」ヨリ物品ヲ
得ルヨリ常住セル貿易會社ヨリ要スル都度購求スル方便ナルヲ以テ目下
「タンボ」ヨリ物品ヲ買フモノ殆ント皆無ナリト云フ

四 島民

本邦觀光ノ帰途「トリス」ヨリ「マート」ト連ヌ「マート」ヨリ本島迄存艦便
兼ニ本島番長「チエマ」ノ退艦ニ際シ日本ノ禮服ナハトテ袴羽織
ヲ着用セリ上陸場ニ許多ノ島民出迎ヘ殊ニ親戚ノ婦女ノ如キハ
彼ノ手ヲ取り喜ビ迎エ難シク様々人情ニ羨リナキヲ見ル

大酋長「ロート」ノ死ハ島民一般ニ一大打撃ヲ受ケタル如ク皆元氣ナ
ク見受ケタリ以テ生前彼ノ勢力偉大ナリシヲ推スルニ足ル本艦々
長ヨリ特ニ遺族ニ贈物ヲナシ哀悼ノ意ヲ表セシム大ニ感謝シ

居レリ

ハ島民ノ生活ニ差支ユル程度ニテラスト認メタリ

三 島民

人口約五ヶ先任者ヲコラウイト称ス島民ノ多数ハコレマツトカボシ下ヲ
穿テリ 裸体ト云々好シテ衣服ヲ着用セザルニ非スレテ布類欠乏ノ結
果ナリト云フ 故ニ島民ノ布片ヲ懇望スルコト切ナリキ

島民一般ニ性質善良ニシテ余等ヲ歓迎シテモマサルニ鶏ヲ贈呈シ
帰艦ニ際シテハ終員海岸迄見送りキヲ振リ別々情ニ頗ル懐感

ヲ起サシメタリ

目下暴風ノ影響有ラ度ケコボラシ外食スルモノナシト虽島民ニ産物コボ
ラハ彼等ノ常食トシテ充分ニシテ一般ニ体格優劣ナリ

四 宗教

新教ニ信仰ス島民宣教師ヲラガメツト称ス一側ノ會堂アリ約五
十ヲ容ルヘレ内部何等ノ設備ナク單ニ集合シテ祈禱ヲナスモノカシ

五 言語

マルト山島ト云ナリ英語ヲ解スモノナレ

六 他島トノ交通

昨年七月莫帆ヲクホリ來航セシハ暴風後トテコボラシ其他ノ貿易ヲ

ナカスシテ出帆セリト云フ大カノ一ツヲ有スクワゼリンニ往復ス 目下四名ノ島
民同島ニ出稼中ナリ

七、上陸場

東岸 西岸 共ニ「リ」約三百米満潮時ニ海岸近「カ」ニ達シ
得「シ」

「ラ」諸島

一、概要

「ラ」ト島ノ西北方約三百哩ニあり東西六哩南北五哩円形礁湖ヲ
ナレ大小九島アリ「ラ」島「ロ」島「リ」島「ホ」島「ク」島「ケ」島「コ」島「ソ」島「シ」島
通路アルニ水深浅ク僅ク水色ノ表ニ居ルト波浪ノ度他ニ比シ低ク
「ラ」之ヲ識別シ得 幸フテ「ラ」トニテ通過シ得ル程度ナリ
本諸島ハ「ラ」イリ「ラ」グ「ラ」プニ於テ聚取シタル處ニ依テ昨午六月暴風襲
来ノ結果住民ハ「ラ」ウジ「ラ」島「ク」ワゼリン島ニ出稼シ目下「ラ」島ニ八名「ロ」島
島ニ二名ノ住民アルノミト依テ本視察台車ニ本艦々上ヨリノ視察ニ依リテナ

二、「ラ」島

礁湖ノ東南隅ニあり中約三百米長ク一哩半柳ヲ樹テ樹多數アルモ果實實ヲ
認めス海岸ニ枯レ「ラ」バンノ木ノ枯死セル事「ラ」島ニ異ナラス 岡帆ノ際

四名ノ土人海岸ヲ歩行シ居リモ「カノ」ヲ認メス

三、ロック島

礁湖ノ西南隅ニリ椰子樹ノ木ノ状況ヲエ島ノ奥ヲラス内岸ニ
面シ一軒ノ家屋アリ又海岸ニ多数ノ椰子樹ヲ栽培シアルヨリ推スルニ
二名以上住民アルカシ但シ航過ノ際ハ人影ヲ認メザリキ

四、リボン島

礁湖ノ西北隅ニリ家屋一軒アリ椰子樹豊富ニシテ且ツ整然ナリ暴風
被害ノ跡ヲ見ズ該島ハ南方海岸ヲ荒廢セシモノト推ヤラル

「ウジヤ」諸島

一、概要

「ヤルト」島ヲ去ル北西方ニ而「ウジヤ」諸島ノ西ニ四十哩ニ位シ中約五哩長サ
約廿哩菱形ヲシテ北西方ニ延長ス住民アルハ「ウジヤ」島「ホック」島「エヌ
ラノグ」島ナリ

西方水道ニアリ「ロック」島南方ノモノハ帆船ヲ通過シ得ヘク北方ノモノハ廣
ク水深又深レ

0620

水艦視察員ハ、ウツヤエ島西方ニ上陸セント欲シタモ當時西風稍強ク
長湊大ニ怒濤岸ヲ嘯シ短艇ノ達着不可能ナリシヲ以テ上陸ヲ見合
セ今島先任者「ローガル」ルナルモノヲ短艇ニ泳キ至ラシメ島民ノ情況ヲ聽
取レ周航ニヨリ諸島ヲ視察セリ
ニ「ウツヤエ」島

(1) 概要

礁湖ノ南端ニ位シ中約四百米長ク約一哩椰子樹多クモ果實ヲ認メス
昨年七月暴風ノ襲来アリ島ノ目下多少ノ損害ヲ受ケ居ルモ回復セハ多
額ノ年産額アルヘシ

(2) 人口及言語

合約百名「ヨルト」島ト今一言語ナリ英語ヲ解セモノ夫僧侶一名ノミ

(3) 宗教及教育

新教ヲ信ス會堂、學校ヲ兼テ僧侶又教師タリ學校ニテハ土語ニ書キテ
タル聖書ヲ教授ストセフ

(4) 水産物

漁類豊富ニシテ殊ニ章魚多シト云フ

(5) 其他ノ事項

本年正月日本帆船「ギジン」丸來航シ「エヌラメジ」島及「ボック」島ニ碇泊シ「ローガル」所有ノ「ゴボラ」約二十俵ヲ徵集シ何等之ニ相當スル報酬ヲ與ヘスレテ去レリト云フ

島民ハ「ウオット」島「アイリハラ」島ニ航海スト云フ

三、ボック島

礁湖ノ西側ヨリ周圍約一哩半ノ小島トシテ西北岸ニ椰子樹アリ甚シク暴風慘害ノ跡ヲ認メス

四、エヌラメジ島

礁湖ノ北端ニテ中約半哩長サ約一哩椰子樹豐富ニシテ海岸ニ幼樹ヲ栽培シテ「本船」周航際西三名ノ島民海岸ニ至リ日本國旗ヲ掲揚セリ前記帆船ノ後シタルモノカ

「ウオット」諸島

一、概要

「チャルト」島ノ北西方三行三十哩「ウジマエ」列島ノ北方四十哩ニ位シ南北約十八哩東西約十哩略三角形ヲナス西側ニ側ノ水道アルモ共ニ

小艇ノ通航シ得ルニシテ 幸島、ウヰット島、カバン島

トス

ウヰット島

礁湖ノ東北端ニリ長サ約三哩中約一哩半水諸島中住民正ハ本島ニ
「タンボ」船長ヲ談シ依テ本島西側ヨリ短艇ヲ進入スルヲ得ルニトハ
コトナリシニ本艦巡航ノ際東南風強吹シ短艇ノ航行不可能ナリシヲ
以テ視察員ヲ派遣セシメテ周航視察ニ止メタリ

アイリングラップ島ニ於テ本島々民ヨリ「飛取」タル處ニシテ人口約四十名ニシ
テ島民ハ新教ヲ奉ヒリ會堂アリシニ過數暴風爲ノ破壊シ且下建築
中ナリト云フ

椰子樹ハ南岸ニ稍多ク東北海岸ニ暴風ノシテ傾ケルモアリ一般
ニ同樹ハ豊富ナラス

メジゴロン島

礁湖西北端ニリ中約一哩長サ約二哩半「パン」水ハ枯死シ椰子
樹亦荒廢ニ居リ

カバン島

礁湖ノ南端ニリ中約一哩半長サ三哩半全島雜木繁茂シ椰子

樹ヲ認メス海岸ハ枯木倒壞セルアリ又多数ノ鳥類飛翔スルヲ認メタリ

「アイリニグナエ」諸島

ヤルト「島」北々西方ニ五十哩「ウオツ」島北方六十哩ニテリ周圍約三十哩北側ハ「リ」フニテ南側ニ群島アリ全島緑樹ヲ以テ掩ハルニテ椰子樹アル島ハ僅カニニテ然ニ極メテ小敷ナリ暴風ノ被害甚シカラス單ニ海岸ヲ洗ヒ去リタル形跡アリ目下住民ナシ

「ロンケラップ」諸島

一概要

「ヤルト」島北々西方ニ三十哩ニ位シ周圍約八十哩西側ハ「リ」フニニテ諸島ハ東側ニ散在ス主ニ「島」カ「島」ホケレイ「島」メ「島」エヌ「島」トルク「島」ロンケラップ「島」トス
獨版海圖ニハ「ロンケラップ」島ト「ロンケラップ」島ハニ島ニテ其ノ距離約十哩ノ如ク記載シタルニ實際ハ「ロンケラップ」島ト「ロンケラップ」島中ノ一

部 落 名 稱 ナルヲ 察 見 セリ

三人口

ロニケラペラップ 部落 約十五名
コニケラップ 部落 約百名
住ス
コニケラップ 商長
コニケラペラップ 商長
コニケラップ 商長
先住者
コニケラップ 島外住民
コニケラップ 島外住民

三 宗 教 及 教 育

新 教
信 徒 約 八十 名
容 忍 會 堂
兼 修 校
上 語
聖 書 及 算 術
の 教 授
ス 僧 侶
コニケラップ 稱
コニケラップ 會 堂
兼 子 受 持
サ 西 島 交 互
住 居 ス
ト 云 フ 彼
ハ 英 語
ヲ 解 セ ス

四 果 樹

柳 子 樹 豊 富
ミ 果 實 多 數
實 リ 島 民
之 ヲ 食 ス
尚 多 大 刺
餘 アリ 彼 等
ハ 船 舶 來 航
シ コニケラップ
買 ハン
コト 切 望
シ 居 リ
コニケラップ 年
類 約 二 三 十 噸
見 込 ナリ
ハ 木 少 數
アリ

五 他 島 ト 交 通

常 テ 外 國 船 舶
ノ 來 航 セ
シ コト ナレ
ト 云 フ
日 本
ノ 各 領
ハ
コニケラップ
島 民
ヨリ 聞 キ 知 悉
シ 居 リ
コニケラップ
教 徒 有
レ 礁 湖
内
コニケラップ
島 民

リック島ニ航海ス

ロンゲリック諸島

概要

マルト島北微西約三十哩、ロンゲラップ島東方三十哩殆ど三角形
ヲ成レ各辺十五哩大小島數約十、主定ノヲロンゲリック島、ホック島、エ
ヌバートック島トス

人口

約三十名ニテ島ノ先任者ヲコレチクニリックト稱シレボキチ之カ酋長
ナリ會堂兼學校アリ僧侶教授科目、ロンゲラップ島ノ部ニ述ヘタル
如シ英語ヲ解スルモノナレホキチハ我國ニ大ナル好意ヲ有シ兼テマルト
守備隊ノ要務ヲ辦シ居リ今由通譯トシ本邦ニ便策セシメタリ本
人ハ能ク英語ヲ解ス

果樹

椰子樹豊富ニテゴブラ年類約三十噸以上見込ナリ台領前迄ハ
專ラゴバンスヒリップ會社汽船「タンボ」ニ賣却セシモ目下同會社所

有船来ラス其ノ俣トナリ居ル

四 水産物

真球貝豊富ナリト云フ島民ハ之ヲ食スルニ當リ直球ノ歯ニ当ルヲ已ム
見出シ次才之ヲ不用トシテ棄ツルト云フ 鰵小教魚類豊富ナリ

五 他島トノ交通

昨年海風ノ來航アリテ島民ハ日領タルヲ知悉セリ「カノ」教員ヲ有シ
「コングラップ」島「クワゼリ」島ニ往復スト云フ 本航「コングラップ」島ニ直接
航過セシ際島民十數名海岸ニ来リ帽ヲ振り平ヲ奉リケテ敬意ヲ
表セリ

六 「ボック」島

「コングラップ」島ヲ除キ常住者アル本島ニナリ 目下男ニ女ニ住居ス 椰子
樹少教アルニ

「ビギニ」島

本島ハ未ク帝國軍艦ノ視察ヲ了セサル所ニシテ左記々事ハ偏々「パイ
リングラップ」島ニ於テ本島ニ來航セルモノヨリ 採取ル概要ナリ
一人口及ヒ宗教

約五十名白人居住ス新教ヲ奉レ會堂ヲ有ス

ニ 椰子樹

目下ココブラ年額約二噸アリト云フ

ニ 其他ノ事項

時期ニ依リ島ノ集合スルコトアリ島民ハ「カノ」ニテ「ロ」ニテ「ラ」ニテ「パ」島ニ出
獵スト云最近外國船舶ノ來物セシコトナレ
「イ」ニテ「ラ」ニテ「パ」島ニ來リシモノ初メテ日領タルヲ知悉セシテ之ヲ島民
ハ未ダ之ヲ知ラス依テ歸島次第之ヲ全島民ニ傳ヘシコトヲ命ニ墾ケリ

(終)

軍艦淀航海報告

其五

0629

軍艦航行海報告 其五

(1) 自「トラスク」至「ホナヤ」

一 航路別表針路表及航路圖参照

二 記事

八月二十六日(木曜) 正午位置「トラスク」午島東方三哩

天候晴 風向 北東

气温 最高 八六度
最低 八三度

気圧 最高 三〇・〇八寸
最低 二九・九八寸

海水温度 北東 二〇・二三度
南東 一四・八五度

波浪 北東 一・五

船揺 右 五度
左 三度

海流 「トラスク」北東水道通過之際、逆潮流(高潮時午後三時)

強流の一部、渦流ヲ生ズル出湖後船ノ偏逸ナリ午後

五時迄海流ヲ感セス

行動用炭費 四噸 航程 一五哩ニ 航走時間 一特五五分

午前十時五分「トラスク」夏島南方錨地拔錨 今十一時四十五分

北東水道通過 東定針、海上柱ノヲ幸 穩驟雨、来ルコト

0630

四回

八月廿七日(金曜) 正午位置

緯度 七度一分五
経度 一五五度三十分五

天候 晴、風向 南東

気温 最高 八四度
最低 八四度

気圧 最高 三〇・〇
最低 二九・九七

海水 比量 一・〇三三
温度 八五・八六

波浪 南東

動搖 右 六度
左 五度

海流 正午南西、流圧四哩、過キス、流速、節ニ弱

行動用炭費 二三トン、航程 一九一哩、航走時間 三十四特

午前十時半加算、凡左舷約二哩半ヲ及、航スルニ會ス

海上平穩ナリシモ、朝末南東凡、夜セシテ、午後六時、天測ヨリ

航位ハ約三哩北偏セルヲ発見セリ

八月廿八日(土曜) 正午位置 七度一分五

天候 曇、風向 南東、南西、気温 最高 八四度
最低 七八度、気圧 最高 三〇・〇六
最低 二九・九七

海水 比量 一・〇三三
温度 八五度

波浪 南東

動搖 左 三度
右 二度

海流 前日正午ヨリ午前六時迄、東北東流速一節三

0631

行動用炭費ニ噸 航程一八。運 航走特別ニ特二分
 午前四時二十分右船一点半ニ「ニカラップ」島ヲ認め蓋シ豫定
 針路ハ今島ノ南四運ナリシモ前日午後六時天測ヨリ推
 定シタル如ク北偏シタルモノニシテ今島ノ北四運ヲ航過スルニ
 至レリ
 午前九時十一分「ポナ」港入港「ラニガール」西方錨地南方浮
 標ニ繫留
 本港潮候特ハ既記セル如ク午早ノ実圖ニヨル三時十五分ヲ
 用テ六六畧實際ニ近キモ 實際航程以外ノ中間日ニ於テ
 ハ寧ロ四時四十五分ヲ用ケル方ヨリ合致シ月齡ニ依レ此ノ
 兩時間ノ間ノモノヲ用フルヲ適 考テリト認ム
 本港着迄ノ航程通計 三八六哩ニ 航走時間一日廿三時六分
 行動用炭費四七噸

0632